

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		ドアやパーテーションで部屋を仕切ることによって利用者様に合わせた個室形態の選択が出来ている。	
	②	職員の配置数は適切である		○	法令を遵守した職員配置を維持しております。	職員の急な欠勤に柔軟な対応が難しい →充実した支援のためにも、人数の確保だけでなく、能力のある人材の確保が必要と考えています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		個別学習室を設置し、課題に集中しやすい環境を整えています。	玄関スロープがないなど、バリアフリーには課題があります。必要に応じて、設置を検討していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		利用者の体格に合わせた場所や道具を用意し、療育を提供しています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		日々、利用者についての話が行われています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様のご意見・ご意向を適切に業務に反映できるように努めてまいります。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		こちらの評価表を、自社HPにて公開しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	外部評価等は未実施です。	法令等則り、必要とあれば、外部評価を検討します。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修機会が豊富にあると感じます。 →新人研修、WEB研修、検討会などを開催しています。	
適切な支援	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		保護者様やご本人の願いや願いを実現できるよう、支援計画を立案しています。	
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		全社共通ツールを開発、使用しています。	

の提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		目標達成のため、具体的な支援計画を策定しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		支援目標達成に向け、日々の支援に取り組んでいます。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		個別支援内容においては、担当指導員が立案していますが、情報共有を欠かさず行っています。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		イベントや集団活動にアイデアを出しあい、様々な活動を提供しています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○		主に、個別療育が活動の中心ですが、イベントなどの集団参加の機会を提供しています。	他者と関わりことが出来る催しを積極的に実施し、社会性を育んでもらえるような機会を提供します。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼を毎日実施し、送迎ルートや本日の来所児童などの情報共有を図っています。	個別療育は基本的に担当システムで行われておりますが、職員間での情報共有をさらに密に行っていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日の終礼の他、支援終了時に気づいたことを職員間で共有を図っています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		指導報告書として、支援実施ごとに記録を作成しています。また、支援中の気づきを欠かさずメモに残しています。	
関係機関や保護者	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		6か月ごとにモニタリングを行い、支援計画の見直しを行っています。	
	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議が実施された場合は、児発管及び担当指導員が参加しています。	サービス担当者会議の開催があまりありません。 →感染症への懸念から会議開催自体が減少していました。最近では、緩和してきたので、積極的に行って行ければと考えています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		保育園・幼稚園・こども園を中心に必要に応じて連携を取っています。	

との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	医療的なケアが必要な利用者様はいませんが、利用された際には可能となるように、地域の病院や薬局等の情報を入手し、備えています。	必要に応じ、安心してご利用いただけるように関係機関と連携していきます。
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	医療的なケアが必要な利用者様はいませんが、利用された際には可能となるように、地域の病院や薬局等の情報を入手し、備えています。	必要に応じ、安心してご利用いただけるように関係機関と連携していきます。
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	小学校入学時に支援内容を提出するなど、情報共有を図っています。	
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	小学校入学時に支援内容を提出するなど、情報共有を図っています。	
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	見学や情報共有を行い、連携を取っています。	職員全員が参加可能な訪問や研修を行っています。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	誰でも参観可能なイベントを月1回程度開催しています。	周知活動を行い、より多くの地域の方々に参加いただけるように努めてまいります。
保護者への説明責	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○	広報やHPなど、情報共有を行っています。	今後も協議会や会議への積極的な参加を検討します。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		○	支援ごとにその内容や課題を連絡帳に記入し、保護者様との共通理解を図っています。	送迎時などにお会いすることが難しい保護者様も一定数いらっしゃいますので、事業所内相談支援などを活用し、共通理解を図ることが出来るようにしてまいります。
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	都度、情報共有やご相談に対応させていただいております。	
	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		○	読み合わせを行い、丁寧な説明を心掛けています。	
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている		○	6か月ごとに支援計画を更新・同意いただき、それに沿った支援を提供いたします。	
	㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	都度、お悩みやご相談に対応させていただきます。	

任 等	⑳	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		例年、専門講師をお招きし ての講演会などを実施して います。	担当校舎以外の保護者・職員も 積極的に参加していきます。
	㉑	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談窓口を設置し、ご相談 等があった際には、誠意を もって対応させていただいて おります。	
	㉒	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月に1度お便りを発行して います。	
	㉓	個人情報の取扱いに十分注意している	○		全て鍵付きの書庫にて、保 管しております。	
	㉔	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		必要に応じて配慮してい ます。	
	㉕	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		誰でも参観可能なイベントを 月1回程度開催していま す。	今後も、より多くの地域の方々に 参加いただけるように努めます。
非 常 時 等 の 対 応	㉖	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		各種マニュアルを策定し、職 員・保護者様への周知を行っ ています。	
	㉗	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		約4か月に1回、防災訓練 を実施しています。	
	㉘	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		定期体に状況をお伺いし、 その把握に努めています。	
	㉙	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーの有無を確認させ ていただいています。	通常、飲食物を提供する機会 はありませんが、必要に応じて 対応いたします。
	㉚	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事例集を作成・保 管しています。	職員への周知を徹底し、情報共 有を図ります。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止についての研修を 毎年実施しております。	
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束についての研修を 毎年実施しております。 また、マニュアルの則り、保 護者様へのご説明を徹底して います。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」札幌東苗穂校 保護者等数（児童数）：10 回収数：8 割合：80.0%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	8					
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	6			2		専門知識のある職員を、法令を遵守した人数配置しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	2		2		集団、個別など内容によって活動場所を設定しています。必要に応じてバリアフリー化も検討いたします。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	1		1		集団、個別など内容によって活動場所を設定しています。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	8					
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	7			1		職員間で相談や話し合いを重ね、様々な支援内容を提供しています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7			1		どなたでも参加可能なイベントを実施しています。
保護者への説明	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	8					

明 等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	6		1	1		プログラムを作成しての家族支援はしておりませんでした。ご希望に応じて、実施を検討いたします。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	8				連絡帳の書き方がとても丁寧です。	
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	2	1			ご要望に応じて、事業所内相談支援などを通して、情報共有やご相談に対応させていただいております。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	1	2	4		感染症防止という観点から、現在は実施しておりません、社会状況によって開催を検討しています。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7				1	お問い合わせ窓口をすべての保護者様にお伝えしております。ご相談には迅速・丁寧に対応いたします。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8					
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	5	1			2	ブログや毎月のお便りを発行し、透明性の高い事業所を目指しています。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6				2	全て鍵付きの書庫にて、保管しております。
	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	5				3	各種マニュアルを策定しております。保護者様への周知も徹底してまいります。
非 常 時 等 の 対 応	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	2	1			5	4か月に1回の防災訓練を欠かさず行っています。
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	8					嫌と言ったことが一度もありません。
満 足 度	㉓	事業所の支援に満足しているか	8					すべてのご利用者様・保護者様にご満足いただけるように、今後も尽力いたします。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。